

平成24年11月6～8日 市民と議会の対話集会における主なご意見・ご要望及びご質問

区 分	ご意見・ご要望及びご質問	回 答
議会・議員	前回の選挙で定数を減らし、さらに減らすと区民や地域の役員の負担が大きくなる。議員定数を減らすのはなぜか。	議員定数問題特別委員会を1回開いた。会派で幅広い観点から論議し、市民の意見も聞き、中津川市にとって減らすことがいいのか、現状のままがいいのか。幅広い立場で議論していきたい。
	若い人の参加が少ないのは問題ではないか。区長の任期がバラバラで一本化されていない。それにより、地域をどうするか観点が違ってくる。区長と議員のディスカッションを進めてほしい。	その通りです。全国の合併した市で、積極的に区長の役割・まちづくりなどを統一しようと真剣に取り組んでいるところを行政視察でみてきた。今後、中津川でも参考にしていきたい。
	議会改革の目的にある「市民の負託」とはどのようなことか。	市民の思い、要望をきちんと聴いて実現につなげることと考えている。
	「ふたく」には「負託」「付託」がある。「負託」というのは市民からの責任を負うということだと考えるがどうか。	そのとおりと考える。
	議員定数の取り組みはどうなっているか。市民から18人にしたらどうかという請願がでているが。	議員定数の特別委員会を設置して検討していく。
	議会の政務調査費について全国的に問題に成っていますが、今後中津川市の方向は如何でしょうか。	中津川市は月1万円で会派へ支払われています。議会活動費として全て領収書を付けて報告しています。議会改革では方向がまだはっきり決まっていません。調査費は公共交通費、ビジネスホテル代等で、食事代等は自前で支払いし正しく活用しています。視察報告書をホームページに掲載しています。
	中津川市議会基本条例はいつ頃制定か。	中津川市議会基本条例は検討を進めています。出来るだけ早くと思っていますが、時期については未定です。
	昨年の議会報告会で、通年議会について検討中ということだった。どうなっているか。	議会改革特別委員会で協議を始めたところです。メリット、デメリットを考え検討していきたい。
	議員定数の削減は必要不可欠であるが、報酬(政務調査費)の削減も検討すべきでないか。	議員報酬は審議会の答審を受け、決まっていくものである。政務調査費は、議員一人月1万円年12万円をいただき、行政視察などに使っている、ご理解をいただきたい。 議員定数特別委員会を1回開いた。削減を前提でなく、どうあるべきか、各会派で検討してきて、近隣都市・類似都市の資料も収集して、広い考えで議論したい。
	議員報酬の中身(日当制など)も検討しているか。	まだ検討していないが、全国の市議会の状況などを参考にしながら検討していく。
	議会改革から住民投票条例について前回聞いたら、視野に入っているとの返事だった。報告のなかでは無かったが、今議会の中でどうなっているのか。	話しは出ているが、今の議題にはなっていない。
	定数削減は経費削減のねらいもある。何を目的に検討するのか。数が減れば周辺地域の意見が収集されなくなるか。恵那市は、政務調査費をなくしたが、中津川市はどうか。	議員の数は様々な角度から検討したい。定数と歳費は、別の会で審議するシステムで、削減か現状か、広い立場から論議したい。 政務調査費は、議員一人月1万円、年間12万円であり、ご理解をいただきたい。

区 分	ご意見・ご要望及びご質問	回 答
議会・議員	議員定数を24名から18名にとの請願が出されたと思う。議員を減らすと周辺地域にはいなくなる、議論を慎重にして21か22名が良いと思う。	人口の少ない地域は心配と思われる、今後検討する。
	議会報告チラシの図書館中止にかかわる費用の説明が不適切でないか。	議員の報告、チラシはわかりやすいものを出してほしい要望があると受け止めます。
	市民がオンブズマンになり行政をチェックするのが本来と思うが、議員イコールオンブズマンというのはおかしいと思う。オンブズマン新聞が中津川市のイメージを悪くしているのではないか。	議会内のことはいいが、外のことは難しい。議長から話しても聞いてもらえない場合もある。
	中津川市へも行政視察に来るのか。	年間20回くらい視察に来ている。最近、評価されていることは、中心市街地活性化事業、小水力発電事業などを視察に来ている。
	議員定数の削減は何のためか。委員会中継をみているとくだらない質問をする人もみられたので質を上げてほしい。数の問題より質の問題でないか。	質を上げることが当然であり、議会全体の質を上げていくように努力する。しっかり受け止めていきたい。
	地元議員として、地元の会議に参加し、何をしたいか述べてほしい。	全地元議員が出席できるよう組めなかったことは申し訳ない。地元議員が今日の会に出ることがいいのか、他の機会で話す方法もあり、検証していきたい。
	市政懇談会で市の状況や施策が直接聞けるので、今日の会では、議員として、どう取り組んでいるか聞けることがいいと思う。	今年度是对話集会という形で行っている。市の情報を伝えるだけでなく、その先をどうするか目的としている。問題になることは、個人の意見ではなくて「議会として」ということが難しい。他市のことも勉強し、意義ある対話集会を模索していきたい。
	9月議会で請願の議決に退席した議員がたくさんいたようだが、議員の責任放棄ではないか。理由を教えてください。	議員として状況によって、決めることができない場合もある。また議員個々の考え方もあるため、理解をしてほしい。
	反対討論と賛成討論の数が違うのはどうしてなのか。賛成派と反対派それぞれの意向をわかりやすくするために同じ人数にしてほしい。	議会の運営上、人数を同じにするというルールはない。(する必要はない)
	中津川のイメージが悪い、良いイメージを出してほしい。田中真紀子議員の動きもある、議員としての考え方は。	私の考え方とし議員の質を上げる必要がある。市民と近い所で行う必要がある。
	地域に一番大事なことは、地域振興である。神坂では、運動会・文化祭など幼小中、地域で一緒に取り組んでいる。議会もご理解いただき、補助していただきたい。	総務企画委員会の行政視察で、地域間格差を是正しようと努力している地域を、中津川市の執行部も同行し勉強してきた。議員も勉強して執行部に意見を言っていきたい。
	議員定数について請願が提出されたが、一新の会からは会派ごとの面談を要望している。ぜひ面談を承諾してほしい。	議員定数など特別委員会で、色々な面から検討していく。
	議員は地元を意識して仕事をするべき、少人口の所も考えた議員定数を。	少人口の所も含めて検討中です。
	過去3代の現職市長が落選している。政局ばかりで動いているような気がする。議会が一つになって市長をもりたて、育てていくようにまとまってほしい。市長交替に伴い計画が中断となるような場合もあった(363号の改修が頓挫して、地元として残念であった)。	
	先日馬籠で民家火災があった。過去馬籠は大火災に見舞われた経緯があったが、今回は消防本部の到達には時間が掛かるなか、地元及び周辺の消防団の早期駆け付けで被害を最小限に食い止めて頂いた。これは消防団のおかげで先生方も地元へ帰られたらお礼を伝えて下さい。	

区 分	ご意見・ご要望及びご質問	回 答
リニア	中津川市議会では一貫して20年以上、新幹線設置推進の立場を全議員が取ってきた。ある議員がリニアのシンポジウムに出席し反対意見に対して、反論をしなかったのは議会としていいのか。外に出てベテラン議員が反対するのはおかしいのではないか。	リニア特別委員会としては把握していない。しかし、議長は承知しており、また調べてしっかり対応していきたい。
	坂本では、リニア新幹線の高架近くにたくさんの方ができると思う。移転について問題になってくると思う。議員としてどう考えているか。	民間企業のJRがJRのきまりで買収していくので、市と一緒に環境問題は取り組んでいく。
	高架部分のほとんどはフード化されると思うが、リニアの見えるところがほしい。	市や商工会議所などと連携し、進めていきたい。現在、JRに要望をだしており、クリスタル化について研究開発している。
	坂本の道路問題について、取り組んでほしい。工事用道路についてもきちんとつめていってほしい。	道路問題は県と一緒に考えていきたい。大きな道路は県で、小さなものは市で考えていく。工事用道路については、市民・子どもの安全に配慮していきたい。
	特急電車を止めるには、今の坂本駅では無理である。移築が必要でないか。	在来線の移転は全額地元負担になり、電車を動かしながらの工事になり、数十億の費用が必要であり経済的な負担が大きいのが問題である。
	笛吹市へ行き、JR、県や市が連携し、地元の仕事をつくる話をきいてきた。	行政もその情報は収集している。工事中でも中津川市に効果のあるように知恵を出していきたい。
	リニア関係はJR主体の国策と考えている。坂本に停車駅が出来てチャンスと思う。15年先の話したが中津川市は百年の大計としているのでは、物事にはリスクがある。原発で分かると思う。リニアは地下を走るが中央構造線は動いている。山口地区では阿寺断層と馬籠断層があり木曾川を渡ると断層があると聞き心配する。夢の話の中でリスクの話はどうかと思うが議会でリスクについて話しているのか。坂本地域も開発の裏には自然破壊がある、市民生活を考えるとリスクはどうか。	国家的事業でJR主体で行う。議会では、誘致委員会を昨年対策委員会と名称変更し調査研究を始めた。多くのリスクを今後調査研究を行う。山梨の工事現場も視察した。コンクリートのフードに見えるフードに変更も要望した。阿寺断層も直角に横断すると聞いている、今後研究を行う。
	リニアについて各所でボーリング調査が行われ地域の話題となっている。地域でリニア構想を出してくれと言われるがJRのイメージ構想などを示して頂かないと分からない。	今中津川市ビジョン策定委員会でも来年8月に纏める。JRから情報が出て来ない、JR現地事務所が出来たので今後は来年9月にルート発表等情報が出されると思う。その後に地域へ示して行く。付知では市職員を呼んで説明させ進めている。
	リニア開業の影響、地域への影響を考え、これからの15年間は意識改革をするいい時期である。議会・議員は何をするか。	リニアを中津川、この地域全体にいい影響・効果がでるよう各団体とも連携し取り組んでいきたい。
	リニア中央新幹線には反対である。JR東海は3兆円に及ぶ赤字があるが、建設費が低く見積もっても9兆円かかるが、耐えられることはできるか。	議会として民間企業の経営などについては言及できない。
	民間企業ではあるが大事業であるから、議員もきちんと勉強してほしい。	今後検討していく。
	予想される乗降客数はどのくらいか。200人とか3,000人とか、数字にばらつきがあるが。	議員として調査研究していないから、具体的には答えることはできない。
	電磁波の影響についてはどうか。沿線の病院などへの影響が心配。	JRなどの発表では安全だと言われている。
	リニアの推進をしているが、市議会での取り組みは。	昨年誘致委員会から対策委員会と名称変更して取り組んでいる。リニアをどう生かすかを視察検討している。市から計画が来たらチェックし意見を述べる。
	リニア中央新幹線について議会としてのビジョンを示してほしい。	

区 分	ご意見・ご要望及びご質問	回 答
図書館	図書館問題について、建設中止による9億円の賠償費はどこから出すのか。	この金は一般会計のH23年度の繰越金から出る。業者の損害賠償金は建設工事審査会などにもかけ、検討していくことになる。
	議会報告チラシの図書館中止にかかわる費用の説明が不適切でないか。	議員の報告、チラシはわかりやすいものを出してほしい要望があると受け止めます。
	図書館について、町村の地域は充実している。今の市立図書館を使っていくのなら充実してほしい。また、旧中津川地域の図書館を充実してほしい。	済美図書館以外は充実していない。付知の図書館は、事務所の移転に伴って整備した。地元の意見を聞き、市民に公平という立場を大事にして、順次充実していきたい。
	議会は新図書館を建設すると議決したが、なぜ中止となったか。中止となった詳しい状況を教えてほしい。	昨年12月までは建設を議決してきたが、市長交代後、新市長が新図書館中止を決定した。
	前市長はなぜリコールとなったか。前市長は議決に従ってすすめていただけたと思うがどうなのか。	新図書館建設やミックス事業候補地選定などに、多くの人が反対を唱えたからだ考える。
	図書館に反対の議員がおられるそうだが、人間形成には読書が必要だと考えている。それに反対されるのは心外。地域の図書館を充実させると説明があったが、新図書館建設を中止したのに、充実ができるのか。	ブックスタートなどで小さいうちから本に触れるだけでなく、教育委員会の力をかりて読書活動の充実を進めている。大人にとっても同様に必要に考えている。
	阿木公民館の「みちくさ」は子どもの居場所として設置したものの。たまたま本があったから図書室というのには程遠いと思う。今後どのように充実していくのか教えてほしい。	阿木公民館はこの先建替えの予定があり、その時には図書室の機能を充実すると考えている。
	新図書館建設中止に伴う費用はどこから支払われるのか。	市の予算からの支払いとなる。
	市の予算ということは、税金から支払うということか。新図書館には賛成している私たちの税金を使ってほしくない。	必要な経費は議会に提案され、必要かどうか慎重に審議し支払われる。
	前市長のリコール運動の際、この地区において間違っただけで署名を集めている人がいた。「病院か図書館か？病院が大切だと考えるなら署名をしてほしい」と趣旨と違った説明をして高齢者宅を訪問していたと聞いている。どう考えるか。	署名活動のルールを守って集めてくれる人を選んで集めてもらった。間違っただけで集めてはいない。
	間違っただけで署名をしたことに後悔している人もいる。どのように考えているか。	そのような方法で行っていた人もいたかもしれないが、この問題は野球場建設から始まっている。建設に対して大変怒っている人もたくさんいる。さらに新図書館建設が重なって、リコール運動につながったと考えてる。
	一票差とは言え、議会で決まったことが覆されたことはおかしいのではないか。	地方議会においては、大きな事業は時間をかけ、色々な市民の声を聞いて全会一致で決めていくことがいいと考える。地方議会においては大多数の議案が全会一致できまっているのが大方の状況。（ふざけるな！という声があり）
	選挙で選んだ（負託を受けた）議員が先導してリコールを行うことはどうなのか。本来なら議会が解散をして問うべきことではないか。	議会に解散の提案が出たが、その際には否決となった。
	今後、計画していたような新図書館を建設することは可能か。	当面は難しい。可能性はゼロでないと思う。

区 分	ご意見・ご要望及びご質問	回 答
図書館	図書館の機能には色々あるが、図書館の必要性の認識が不足しているように思える。必要性について市民にわかりやすく知らせてほしい。	図書館の必要性や読書の重要性については認識している。小さな子どもたちにはブックスタートから始まり、学校教育でも読書活動に力を入れてもらっている。各地域の貴重な資料なども中央図書館でとりまとめて保管することを始めている。
	新政会のアンケート調査の結果として回答者の40%が無回答であったとの発表だったのに対して、超党派議員の会は市民の90%が望まない新図書館建設に反対としていることに対して確認したい。 市長にも同様な質問をしたところ、「短絡的であると思う」とコメントをもらっている。中津川市の議会では、アンケート結果の計算の仕方などが会派ごとに違うのか。	議会としては、統一した計算方法などを決めているわけではない。アンケートに関する解釈は各会派や各議員それぞれである。
	最初の新政会の新聞にはアンケートの回答者の90%というコメントが、超党派議員の会の見解が市民の90%が反対とすり替わっているのではないか。	そのようにも考えられる。
	間違った解釈をしたことに議会が何らかの対応はしなかったのか。黙認したということか。	議会が正式に90%という数字を発表しているものではないため、その点については具体的には議論していない。
	10人の議員が徒党を組んで市民を騙したということについて、議会としては何の関係もないということか。	10人の議員の統一的な見解として、90%が反対というコメントを出してはいない。
	超党派議員の会の設立の大義名分は、市民の90%が新図書館建設に反対と新聞発表にあるが、どうか。	そのように記憶していない。
	10人の中の何人かの新聞などには市民の90%が反対と載せている。また、リコール運動の趣旨などでもうたっているがどうなのか。	何人かはその数字を使用していると思うが、統一見解としてその数字を出していない。マスコミが書いた数字が一人歩きしたと考える。
	市民の90%が反対ということは、そのように書いた議員個人の問題か。	超党派議員の会と議員個人の考え方は切り離して考えてほしい。
	図書館の件ですが、新しい図書館の請願を採択された。今後どうするのか。	一つはすぐ造れということで採択はされなかった、もう一つはまちづくりに取り入れて造れという請願で採択された。委員会の中で検討した。図書館の必要性は有り継続的にする事は採択された。
	新図書館建設中止に伴い9億のお金が無駄になると考えるが、国へ補助金を返したりすると、今後補助金がもらえるのか心配である。今後はよく考えて活動してほしい。	
	恵那市の図書館へ中津川市の多くの高校生が通っていることから、中津川市も図書館が必要であると考え。その点をよく考えてほしい。	
総務企画	総務委員会の資料では多くの施設があり、統合縮小が必要になってくるのではないか。	マスタープランに沿って、現在使っている、使っていないだけでなく、今後のことも考え広い観点から検討していきたい。
	中津川市も少子高齢化だが、10年後～将来のビジョンはできているか。	議会としての統一意見をまとめていない。
	企業誘致なども大切だが、教育の充実も含めた定住推進策を考えたらどうか。	議会としての統一意見をまとめていない。
	山口は限界集落に近い地域も有り、運転出来れば市内へ行けますが高齢になれば運転出来なく、公共交通しか有りません。山口は路線バスがあり巡回バスが有りません。乗客の減で路線バス本数も減り困っています。合併地域の格差は正からどのように考えておみえですか。	交通弱者の足確保は大切な課題です。以前巡回バスについて山口地域を調査しましたが、バス路線との競合から実施出来ませんでした。先日総務企画委員会で定住対策について岡山・広島地域を視察研修して来ましたが課題は中津川市と変わりませんでした。高齢化率の高い地域の交通対策は重要課題として中津川市も取り組んでいます。地域の要望としてお伝えします。ファミリーサポート事業等も有りますが難しい課題です今後検討したいと思います。

区 分	ご意見・ご要望及びご質問	回 答
総務企画	総務企画委員会の市所有施設について、人口規模・使用頻度・必要性から見直すのは市の考え方で、他の活用法、違う視点から考えることが必要でないか。辺地の施設は全部なくなる危険な考え方であり、一考願いたい。	同じ心配をしている。市はマスタープランを作成し、地域での役割も加味し、意見も聞きながら、検討していきたいと考えている。議員も同じ認識であり、一方的に進めることはない。
	職員削減により、サービスの低下を心配している。町内会長や区長へ仕事が降りてきている。市民に迷惑や負担にならないようチェックしてほしい。	人口減少の中で、公でやる仕事、住民がやる仕事を分け、住民・行政・議員の役割を明確にし、全市内を公平なまちにしなければならない。議員も勉強して取り組んでいきたい。
	1,700箇所の公共の施設の半数がかなり老朽化しているとの説明があったが、「リニアに向けたまちづくり」に取り組んでいる当市には大きな会議ができる施設がない。将来の中津川市のためにも、施設については慎重に検討する必要があると思うがどうか。	議会でも収支のバランスを考えて、慎重に検討していく。
	重要な文化財のある馬籠で大きな火事があり、消防署の分署をつくるとか消防の充実をして欲しい。	地元からの要望が市に上がってくれば、議会も取り上げていきたい。
	坂本分署の人員が少なく、職員を増やし充実して欲しい。	議会も消防署の人員について取り上げてきている。消防署としては、定数は確保できているという立場である。現状は維持されている。
	中津川市の人口が減っていくが、増やす方策を考えなければいけない。中津には土地があり、名古屋のベッタタウンにしたらどうか。	地方都市が人を増やすことが重要である。出て行かない、定住を増やすこと、特に若い人が残ること勉強して取り組んでいきたい。
	費用削減などを考えると議員と市長選挙を同日にしてほしい。	公職選挙法上はできない。
	ミックス問題、火葬場問題等今後も課題がある。お願いしたいのは、決った事をしっかり行うようきちっとして頂きたい。下水道料金も値上げが出てきた、生活基盤の安定を考えてほしい。	
文教民生	リニア新幹線開通に伴い、阿木への人の流入ができるようなアクセスを考えてほしい。また、恵那市と共同で検討も出来るよう合併なども考えてほしい。明智鉄道の活性化もお願いしたい。	
	市民病院、坂下病院の現状をお聞かせ下さい。	両病院とも市民は期待と不安感で見守って頂いていると思います。平成23年度決算からお伝えしますと、両病院ともに経営改善改革プランを実施し、成果が出ています。現状赤字ですが、原価償却費内の赤字となっています。全国の黒字自治体病院では一般会計からの繰り入れが14.5%程で市民病院は9%台です。もし市が全国黒字病院並みに繰り入れていれば黒字で改善は出来ます。市民病院の心配は内科医師5名の退職で外来初診が出来なかった事です。しかし平成23年度から総合医療で外来初診を始めました。両病院とも基本的にプラン通り出来ています。今後も国の医療制度改革が心配ですが両病院共に健全経営に向かっています。
	病院関係で坂下病院の高山先生の状況を教えて頂きたい。	高山先生は定年で延長をお願いしている。医師の派遣は大学の医局長の判断で契約が無い、後一年延長をお願いし契約したい。
	東京に娘が嫁いでいる。こちらで家を持ちたいと話があり、近くの千葉県辺りではと話したら、子供のために放射能被害が心配と言っていた。今学校でも放射能検査を実施している、放射能対策として議会の対応は。	給食の食材を各地で測定している。全て基準以下である。放射能測定器の設置の請願が出されたが、市ですでに予算化し実施方向だったので賛成少数で否決された。市では大気を4月から、給食の食材を10月から実施しています。

区 分	ご意見・ご要望及びご質問	回 答
文教民生	人口比による施設から子供も少なくなっているが、今後教育施設への考え（統廃合）を教えてください。	少ないから廃止するという意味でない。教育委員会が説明に廻っている。理想は2クラスだが難しい。それぞれ地域で話し合って頂く様に進めている。教育委員会は計画を持って説明を行っている、現状と計画を地域で話し合って頂く様に。去年は統廃合で説明に廻ったが、地域では大問題で地域とPTAで話し合い結論を出して頂く。
	文教民生委員会で、福岡の4小学校をどうするか、議会の基本的な考え方・方向性を伺いたい。	田舎のよさ、地域の文化を残すことが大事である。4小学校のこと、図書館の充実等の課題があり、地域の状況を踏まえ進めていきたい。
	支えあうマップづくりを、防災安全課の防災訓練でも行い、福祉部の指導でも同じことを行い、二重になっているのではないか。	市の機構は市民のニーズに合わせ変えてきた。議会はニーズに合っているかどうかで議決してきたので細分化され、そうしたことが起きているかもしれない。行政に伝えます。
	平成神坂村会議を行っているが、神坂と馬籠の行政が一致していない。PTAのお母さんたちは困っている。議会としてどう思うか。	平成の合併までに様々な経緯があり、合併時にPTAが困っていることは聞いている。地域の様々な問題を解決していただき、合意が生まれれば、議員としても応援をしていきます。
	老人クラブの運営について、神坂と山口とでうまくいってない。感情の問題があり、大変難しい。時間が必要であり、それについてどう思うか。	昭和の合併の問題も承知しており、ある程度の時間と住民の皆さんの理解が必要だと思います。
	前田青邨記念館の施設などの管理はどうなっているか。	まだ閉館中。
	原発廃止の請願を否決した理由を聞きたい。	個人の意見だが、原子力発電は事故が起きると心配の為反対だが、即時廃止の請願の為に反対した。しかし自然エネルギー発電に変換出来れば良いと思う。
産業建設	新図書館建設が中止となったのに、文教民生委員会で他市の図書館を視察に行ったことは費用の無駄ではないか。	意見として伺う。
	阿木地内の河川には雑草、雑木、土砂などで荒れている所がたくさんある。現地の状況の把握は議会として行っているか。	危険箇所などの確認や、委員会でため池などの状況は確認したが、個々の状況については、区長を通じて把握するようにしている。
	議員も地域の状況（前出）を確認してほしい。	議会としても検討できるよう、他の議員にも伝える。
	今年下水道委員となって会議に出て、中津川市の下水道に関する施設・料金・整備状況等聞いた、議会はどのように対応しているのか。	難しい問題で旧中津川市の整備が遅れている、特に坂本地区。恵北地域は完備しているが、施設の改修が今後の問題です。坂本地区も補助金活用し早期に完成したい。今後は改修・整備を考え進める必要がある。平成21年度～平成25年度で利用料金統一で進んでいる、平成26年度以降は審議して頂く。
	一時中断している神坂スマートは、神坂・馬籠の発展には必要であり、議会は実現に向けて促進してもらいたい。	近々に、地元協議会があり、どうつくるという立場で声を上げてほしい。一緒に取り組んでいきたい。
	島田川は、馬籠地区は国、神坂地区は県と管理が違い整備に差がある。議会、地元議員はどう考えているか。	地元の皆さんと一緒に、今後も要望を続けていく必要がある。
	地場産業（蛭川なら石）をどう考えるか。農林業などについてもどう考えるか。	今回の産業建設委員会での視察は、地域の雇用と工業振興についての見学であったので、このような報告となった。農業や林業や地場産業も地域の活性化につながると考えるので、委員会でも取上げるよう検討する。
	中津川市の農業振興ビジョンを聞いたが、はっきりとした内容が出ていない。議会としてはどう考えているか。	各地域に合ったアクションプランを検討するよう地域に要請している。年末を目処にまとめてもらうように進めている。

区 分	ご意見・ご要望及びご質問	回 答
産業建設	ミックス事業の件で津戸の住民の一人として4年半のお礼にきました。有り難う御座いました。そして早く施設を造らないと補助金の返還と聞いていたが、解決したのか。	6億円の補助金返還は今も課題でこれから検討します。
	当時平成22年度中に建設しないと補助金返還と市は言っていた、今は24年になる。今までそれでいじめられた、散々言われて来た。補助金は6億円じゃない、いくらなのか答えてほしい。補助金は3億数千万円だ、今すぐやる必要がある。25年などとゆっくりしている場合じゃない。平成19年に問題が起きて会計検査が入り、平成22年度にやると答えた。	いま待つて頂いている状態、解決に向かっている。
	近いうちに地震が起きると言われている。水道管の耐震工事の進捗はどうなっているのか、ライフラインは大切だ。	耐震改修の計画を作成し進めている。工事を進め現在5%完了している。水道管75ミリ以上は5%で、平成26年度までに5.4%引き上げるとの計画だ。配水池の耐震化率はもっと数値が高い。
	中津川の玄関の中心市街地に活気がない。非常に不安である。これからどうなっていくのか。	中心市街地活性化計画の主な事業はほぼ終わっている。市の内部の委員会で図書館用の土地の活用を考えている。間もなく示されるので、議会も検討していきたい。 産業建設委員会の所管事務調査で、中津川市の中心市街地活性化の現状を聞き、西太田町の道路整備、「ねこの手」は利用状況をみてきた。まだまだ中津川のまちは元気があり、若い人の働き場をつくっていけば、すてたものでないという感想を持った。産業振興が大事になってくる。
	産業建設委員会の今後の取り組みの中に、地域産業の育成がない。地域の産業をどうしようと考えているのか。	中津川市、近隣地域と一緒に、新卒者・就職希望者の説明会を開催し、事業所を紹介している。企業誘致も全市的に展開し、補助金も設けている。
	中津川駅前の旧ダイエービルは、何か静かで活気がない。現状をどうするか。	にぎわい特産館ができ予想以上に賑わっている。各階それぞれに使われており、今の状態がベストであり、これ以上の使い方はない。

中津川市議会へいただきましたご意見・ご要望は、議会として真摯に受け止めさせていただき、今後前向きに検討していきます。